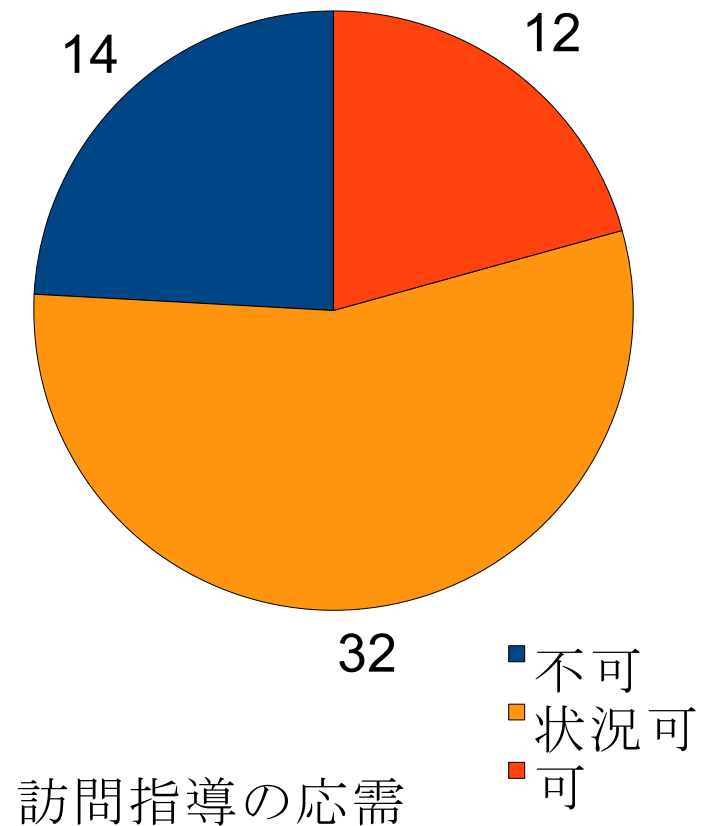


桑名市での現状

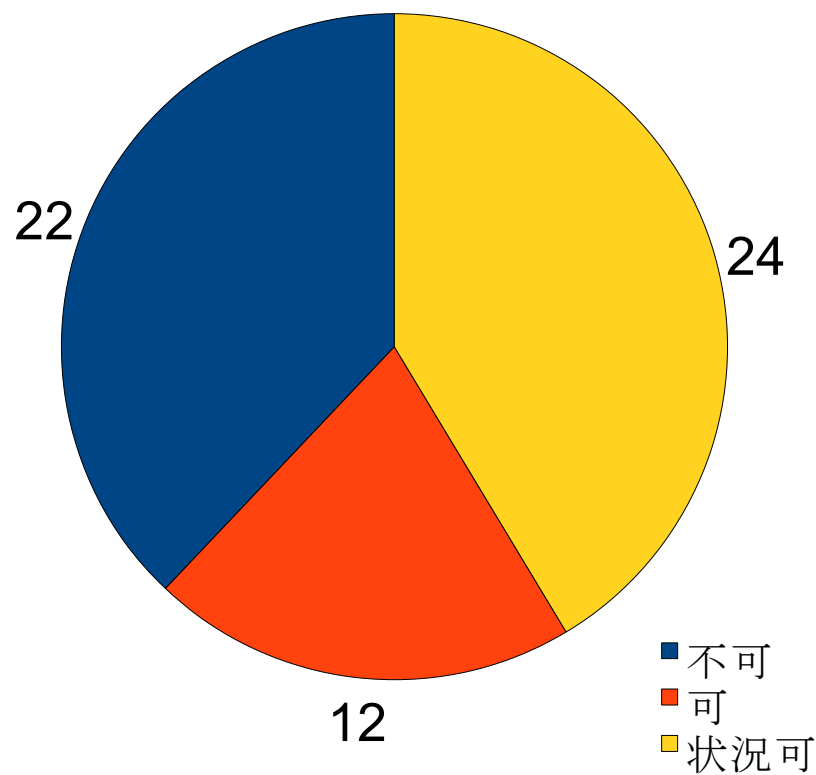
訪問指導の応需

- 桑名市内の薬局でアンケートを実施
- 全67件の内で58件回収(86%)
- 可及び、状況に応じて可の件数が44件(76%)
- 実際に行っている件数は8件(13%)



退院時カンファレンスの参加

- 可及び状況に応じて可を併せると36件可能
- 開催時間などに考慮していただきたい必要あり
- 多業種連携の上でも有効なツール



退院時カンファレンスの参加

終末期医療への参加

- 麻薬小売業の免許を有する薬局数33件
- 実際に在庫している薬局20件
- 注射薬の調整を行える薬局2件
- 輸液・経管・栄養剤の対応は23件が応じる相談
- 輸液ルート、カテーテルの対応は24件応じる相談

終末期医療への参加での問題点

- 麻薬の土日祝日対応について
 - かかりつけ薬局(在宅を担当する薬局)
 - 多職種連携
- 輸液や経管栄養剤に対応している薬局が少数

桑名薬剤師会での対応

- 在宅に関する研修会を開催

H23年3月24日「訪問看護の実態について－今後、訪問看護師より薬剤師に求めるもの－」

H23年7月14日「認知症の理解、ご家族への対応について」

- 今回のアンケート結果を公表可能な薬局については公表する方向で検討中

- 病院薬剤師と薬局薬剤師間での連携を強化

合同勉強会を実施、今後も定期的に行う予定

今後の取り組み

- 多職種との連携促進(在宅ケア研究会への参加等)
- 薬局の在宅訪問業務の応需状況の把握と情報公開
- 薬局の役割や機能について、患者さんや医療福祉関係者の方への周知徹底
- 退院時共同指導や在宅医療移行後のカンファレンスなどへの薬局・薬剤師の参画
- 薬剤師間(病院・薬局間、薬局間)の連携促進
- 在宅医療に取り組む薬局・薬剤師のさらなる養成・支援(研修会の開催、手順書作成等)